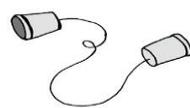


いごでんわ



熊本県立
芦北支援学校
令和2年7月31日
発行



第171号

7月4日(土)の豪雨は、芦北町にも甚大な被害をもたらしました。命を奪われた方も多く、物的被害も甚大で、言葉が失い、心からご冥福を祈るばかりです。電話も繋がりにくい状態が続く、本校関係者全員の安否が確認できたのは7日(火)夕方でした。けが等はありませんでしたが、自宅や車が被災した人が数名おられます。また、本校、佐敷分教室とも施設は床上浸水にみまわれました。学校のあまりの惨状に、現実なのか夢なのか：一瞬間茫然としたことを鮮明に覚えていきます。6月にやっと学校が再開できたばかりでしたのに、災害による休校を余儀なくされるのは：できる人からできることとから復旧作業に着手しました。まず20cmを超える道路の泥や、瓦礫の撤去、次に校舎周辺の撤去、撤去できたスペースに荷物移動、そして校内の泥の掻き出し、物品の洗浄・消毒等：と最初の1週間は泥との格闘となりました。その上、佐敷分教室の方は電気、水道が不通で、雨が続き、作業は困難を極めました。それでも、職員による清掃、業者の方による清掃・乾燥・消毒・乾燥と続き、熊本県教育委員会や芦北高等学校の厚いご協力をえて、なんと7月20日(月)に学校を再開することができました。被災等により出席できなかった児童・生徒が数名おられますが、登校してくれた子どもたち

に会うことができ、ほっとしたと同時に大変嬉しかったです。そして、本日7月31日(金)に終業式を迎えることができました。8月23日まで例年より短い夏休みに入ります。さて、被災した日から、たくさんの方々と団体の方々に温かいメッセージやお電話、飲料水、タオル、消毒液、食料などの物資を続々いただきましたこと、心から感謝申し上げます。短時間での被災にどこから復旧して良いのか混乱している中、皆様方からの共感が全身に染みわたったり、私たちのエネルギーとなりました。寄り添ってくださること、支えようとしてくださることが、こんなにも元氣と勇気につながるものだと思います。ことを経験させていただきました。本当にありがとうございます。これから授業と施設等の復旧を同時に進めてまいります。皆様からいただいたお気持ちを心の糧として職員一同頑張りたいと思っております。最後に迎えますので、無理をすぎず、ご家族のためにも、どうぞご自愛ください。略儀ながらご挨拶とさせていただきます。

熊本県立芦北支援学校校長
山下由美

令和2年度入学式

7月4日(土)に起きた豪雨により、被害に遭われた皆様にも心よりお見舞い申し上げます。本校、分教室も早急に全面復旧につとめてまいります。ご多用の中ですが、今後ともご協力をよろしくお願いたします。

訪問教育

訪問教育には小学部に新たに2名の児童が入学しました。中学部に2名、高等部に1名の生徒も合わせて5名の入学式を行いました。

小学部の2名の児童にとつては初めての学校です。いろいろな経験をしながら、楽しく学習を行ってほしいと思っております。(渡邊)



中学部

中学部では、2名の生徒が入学しました。個別での入学式でしたが、呼名では笑顔で元気良く返事をし、新しい環境への期待と意欲を感じることができました。中学部での学習活動を通して、いろいろなことにチャレンジしていきましょう。と思います。(田端)



高等部

高等部には1名の生徒が入学しました。3年間を過ごす高等部プレイルーム内で、3年生の先輩2名に見守られながら温かい雰囲気の入學式となりました。

高等部では新たなことに挑戦し、楽しい高校生活にしてほしいです。(福島)



佐敷分教室

本年度、高等部佐敷分教室には新たに10名の新生が入学しました。感染症の影響により、いつもとは異なる形での入学式となりましたが、これからの佐敷分教室における様々な活動を、高等部の仲間と共に楽しんでほしいと思います。(境野)



各学部の活動紹介

小学部

6月に遊び場「あしえんフレンドパーク」で、トランポリンやハンモックなどで楽しく遊びました。活動前にはすべての遊具を消毒し、友達との距離を考えながら学習を行いました。また、佐敷小学校3年生との間接交流に向けて、自分の好きなことなどを書いた自己紹介カードやビデオレターも作りました。



(東)

中学部

中学部では「挑々チャレンジ中学部2020」の学部テーマの下、中学部4人で協力し、様々なことにチャレンジしています！学校再開後は、「チャレンジファーム」花いっぱい大作戦」に取り組み、得意な方法で花苗を植える学習に取り組みました。「チャレンジ」を合言葉に、合計47個のプランターに植え付けを行い、学校周辺を華やかにすることができました。これからも中学部全員で何事にもチャレンジしていきます。

(園山)



高等部

6月第2週目から3人の生徒がそろって登校できました。生活単元学習では、生徒同士の距離に配慮しながら、ゲームや園芸活動、制作活動に取り組みました。ポッチャゲームでは、それぞれ得意な動きを發揮しながらボールを転がし、得点を競い合いました。園芸活動では、苗植えや水やり等に取り組みました。

(篠原)



訪問教育

6月8日から授業が再開しました。三密を考慮し、ベッドサイドでの一人一人の入学式・始業式を行いました。授業も時間を大幅に短縮し、接触の少ない内容で、それぞれ学習に取り組んでいます。生活単元学習では、友達や先生のメンバーを知ったり、自己紹介カードを作って伝えたりしました。12人の訪問フレンズ、一年間楽しく頑張ります！（畠村）



佐敷分教室

高等部佐敷分教室では毎日1時間目に体育を行っています。本年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、換気と三密に気を付けながらの活動を行っています。ダンスでは、体育館のスクリーンに動画を映し出して振り付けを覚え直しました。回を重ねるごとに上達して、動きにキレが出てきました。また、笑顔がたくさん見られるようになりました。（門永）



新型コロナウイルス感染症拡大防止のための取組

保健室より

本校・分教室共に児童生徒や教職員もマスクの着用・手洗い・換気の励行に努め、互いの間隔を保ち活動をしています。また、通常の清掃後、アルコール消毒薬や次亜塩素酸ナトリウム水溶液を使用し、毎日消毒をしています。児童生徒や保護者の皆様が安心して登校できる環境作りを心掛け、ご家庭のご協力を得ながら、登校前の検温、連絡帳を通してご家族の健康状態などもお知らせいただき、体調の変化に早く気付き対応ができるよう努めています。教職員も出勤前の検温、教室に入室前の手洗い、うがい薬でのうがいをし、医療的ケアを必要とする児童生徒に接する前には携帯用アルコールで手指消毒を行いました。2学期も気を緩めず努めていきます。（西崎）



○2学期の主な行事○※変更する場合があります

- ・始業式 8/24
- ・現場実習（分教室） 9/28～10/9 予定
- ・にこにこふれあい発表会（本校） 10/30
- ・収穫祭&販売会 in 芦高祭（分教室） 未定
- ・八代芦北水俣ダンス発表会（分教室） 12月 予定
- ・終業式 12/24

「いとでんわ」は芦北支援学校の情報発信紙です。地域と共に成長する学校でありたいと考えています。関係者の皆様、地域の皆様のご意見をお待ちしています。

《御意見・問い合わせ》

TEL 0966-82-4627

FAX 0966-82-4606

MAIL ashikita-s@pref.kumamoto.lg.jp